

市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)

人口	6,130	人(H21.3.31現在)
面積	397.88	km ²
標準財政規模	2,588,818	千円
歳入総額	3,876,168	千円
歳出総額	3,842,898	千円
実質収支	-174,773	千円

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
— 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 18/121
全国市町村平均 0.56
北海道市町村平均 0.28

類似団体内順位 18/121
全国市町村平均 91.8
北海道市町村平均 92.1

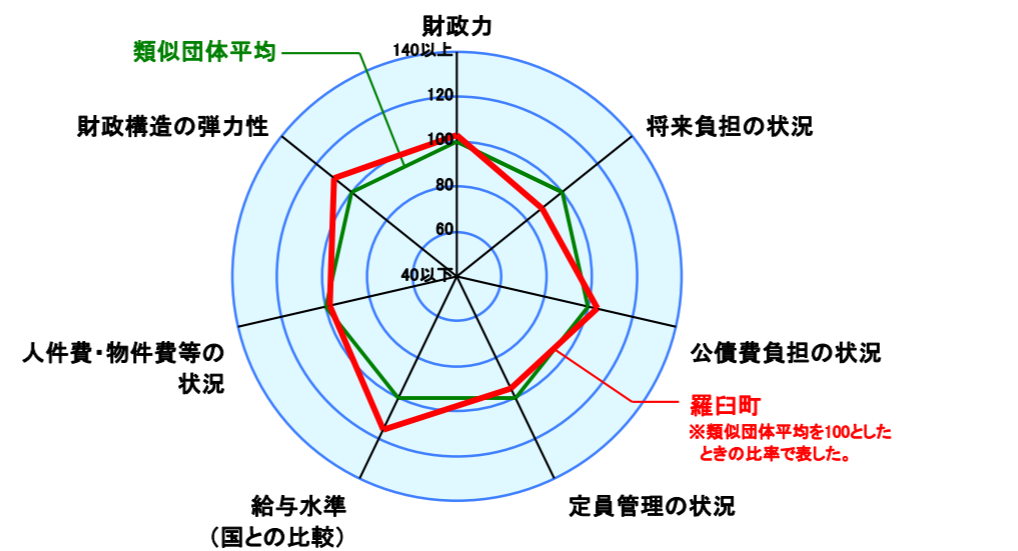
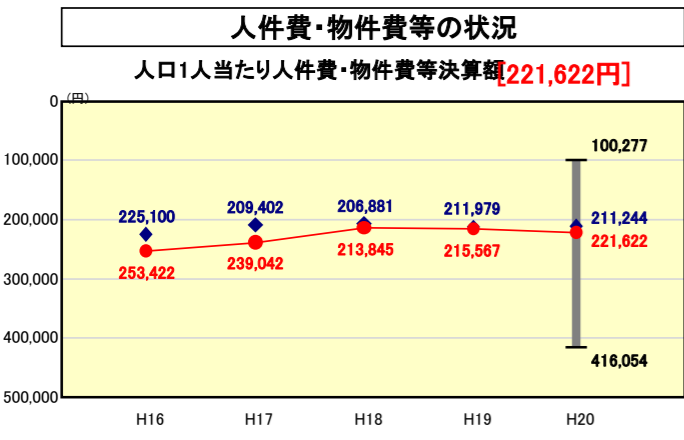
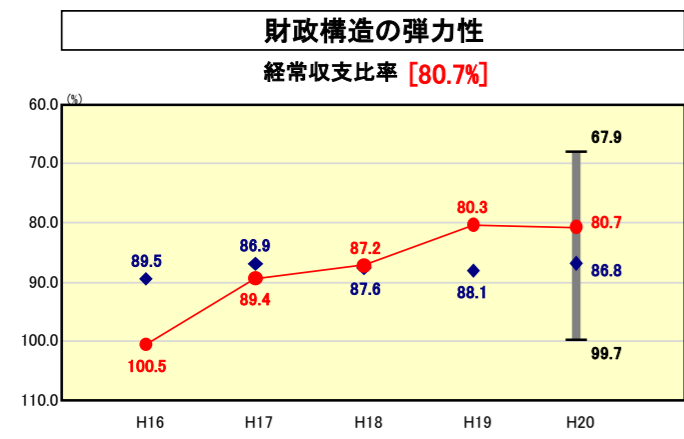
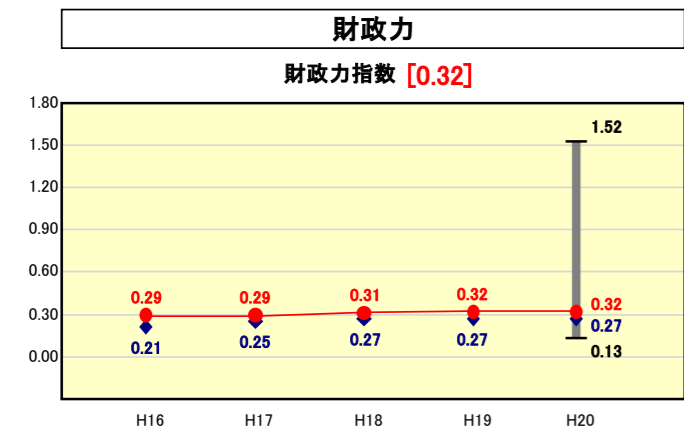
類似団体内順位 70/121
全国市町村平均 114,142
北海道市町村平均 133,025

類似団体内順位 78/121
全国市町村平均 100.9
北海道市町村平均 128.3

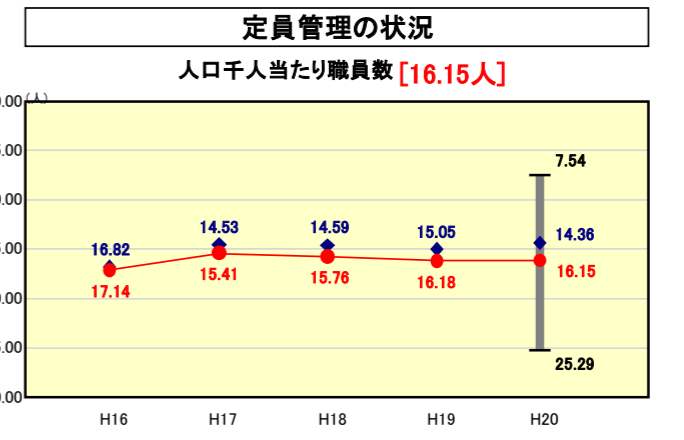
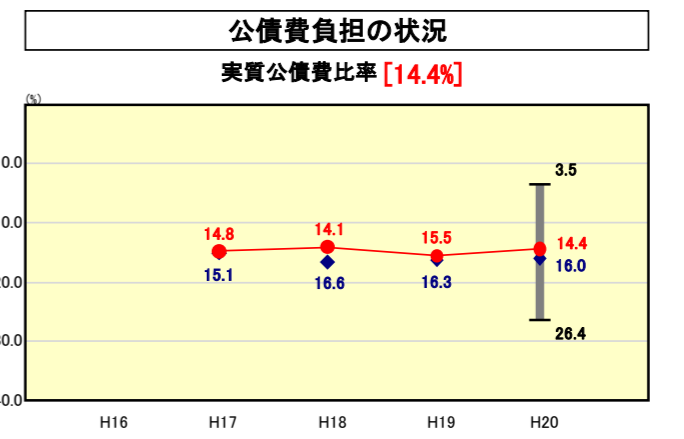
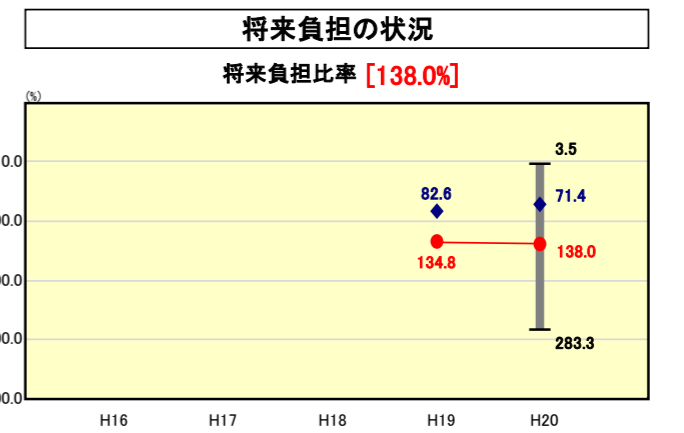
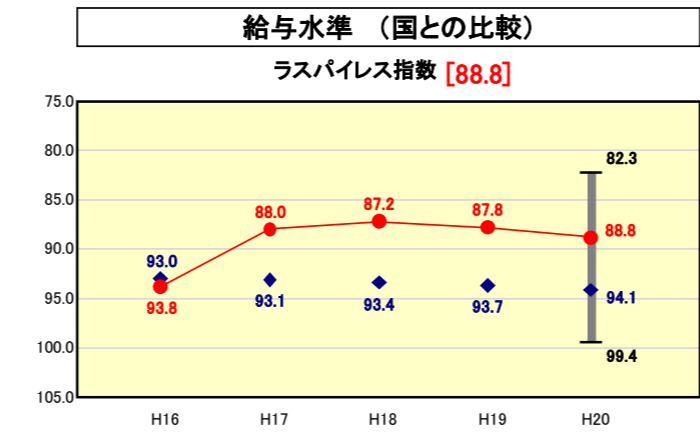
類似団体内順位 38/121
全国市町村平均 11.8
北海道市町村平均 14.1

類似団体内順位 10/121
全国市町村平均 98.4
全国町村平均 94.6

類似団体内順位 79/121
全国市町村平均 7.46
北海道市町村平均 8.34



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- 財政力指数
近年の好漁や滞納整理の強化による地方税の増収増加(15,664)と、歳出における人件費削減(△2,537)、投資的経費の抑制(△49,055)により、昨年度と同じ0.32となった。今後も更なる歳出の抑制と財源確保に取り組む。
- 経常収支比率
平成20年度に策定された『羅臼町第6期総合計画』に基づき、人件費の削減(△2,537千円)、事務事業の見直しによる経常経費の削減を図ったことにより、80.7%と類似団体平均を下回っている。今後も『羅臼町第6期総合計画』に基づき、経費の抑制及び財源の確保に努める。
- ラスパイレ指数
昨年度より1.0上昇したが、平成17年度より実施している給与の独自削減(平成20年度本俸10%削減)により、類似団体を大きく下回っている。今後も『羅臼町第6期総合計画』に基づき給与の適正化に努める。
- 実質公債費比率
過去からの起債抑制により、14.4%と類似団体平均を下回っている。今後も起債抑制等、健全な財政運営に努める。
- 将来負担比率
過去からの起債抑制により、地方債現在高は類似団体と比べるとそれほど多くないが、標準財政規模が小さいため将来負担比率は類似団体平均を上回っている。今後も起債抑制等、健全な財政運営に努める。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額
人件費は、類似団体平均を下回っているものの、物件費及び維持補修費が上回っており、トータルでも類似団体平均を上回っている。これは、物件費では衛生費(ごみ収集、運搬費等)、維持補修費では土木費(除雪費等)が多いためである。今後は諸所の条件を参考に抑制に努める。
- 人口千人当たり職員数
現在は、平成17年度に策定した定数管理に基づき職員数の削減を行い、目標数値(110人)を下回っているが、類似団体平均を上回っている。しかしながら、類似団体の中でも更に産業構造や都市から離れた地理的条件が同じ団体との比較では、必ずしも多い職員数ではない。今後も諸所の条件を参考に適正な職員数の管理に努める。